

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年4月2日		記入者		連絡先	2736
平成18年度部名	経済部		課名	農林課	課長名	宮崎 孝司
平成19年度部名	経済部		課名	農林課	課長名	小峰 幸夫
事務事業名	食育推進事業					
予算上の事務事業名	食育推進事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31510		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
食育基本法、食育推進基本計画						
3 個別計画の概要				概要		
計画名				地場農産物を使った料理講習会や収穫体験		
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	研修・講座			5 事業開始年度	平成17年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
地場農産物を身近に感じ、食の大切さを学び、伝統的食文化を伝えてもらうことと都市農業に対する理解を深めることを目的とする。				一般市民・児童		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
郷土料理講習会・・・5、8、12、2月ウェルネスさがみはらにおいて女性農業者を講師として開催。 キッズ・クッキング・・・8、3月ウェルネスさがみはらにおいて相模女子大の先生を講師とし児童を対象に開催。 卒業記念料理教室・・・3月小田急ホテルセンチュリー相模大野において小学校卒業した子を対象に開催。 農業めぐり・・・7、10、11月市内の農業施設や農家の圃場において、収穫体験を実施。 保育園への講師派遣・・・10月上矢部保育園と谷口保育園へ女性農業者を講師として派遣し、園児とその保護者を対象に野菜の話をしてもらった。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	1,000	800	615	615	
一般財源	0	500	400	615	615	
受益者負担金	0	100	173	195	195	
その他の特定財源	0	500	400	0	0	
人件費の合計	0	381	449	373	373	
事業コスト合計	0	1,381	1,249	988	988	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	食育推進事業			対象名称 と単位	講習会等参加人数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	1,000	800	615	615	
対 象 数	0	300	285	195	195	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	3,333	2,807	3,154	3,154	
前 年 度 比		#DIV/0!	0.84	1.12	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	講習会等参加者数	指標式と指標の説明	参加者数 / 定員（目標数）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	114.0	238.0		
目標	0.0	120.0	200.0	120.0	120.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	95.0	119.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	アンケート（相模原市内で生産された農産物を食べたいと思う人数）	指標式と指標の説明	相模原市内で生産された農産物を食べたいと思う人数 / アンケート回答者数（目標数）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	100.0	162.0		
目標	0.0	101.0	163.0	180.0	180.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	99.0	99.4		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		地場農産物を使った料理講習会や市内の農業を見学・体験する本事業は、食の大切さを学べるとともに地場農産物を身近に感じ伝統的食文化を伝えることができる。また、都市農業に対する理解を深めてもらうためには必要不可欠である。が、より多くの市民に参加してもらうには、開催場所・回数、定員の検討を行う必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
より多くの市民に参加してもらうため、公民館等で実施するなど様々な地域で開催する。さらに、多くの講習会に対応できるよう講師の育成をはかる。また、講習会参加者によるアンケートの結果をもとに地場農産物のPRを進める。			参加希望者の数に対応する会場等の増設。 実施主体の見直し。 講師の育成・増員。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		保健所、学校等との役割分担を検討、農業振興としての事業のあり方を見直しを行う。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			